

平成30年度 指定管理者施設管理評価シート

		部課名	文化産業観光部文化振興課
施設名称	6	東京都台東区立書道博物館	指定管理者
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定期間	H27. 4. 1 ~ H32. 3. 31

1. 施設および事業の概要

(1)	[設置目的]	洋画家でもあり書家でもあった中村不折が開設した書道博物館は、開館以来60年にわたり中村家が運営してきたが、平成7年に区が寄贈を受けた。不折の作品及び書道に関する収集品を広く一般に展示公開し、区民文化の振興を図る。
(2)	[所在地]	台東区根岸2-10-4
(2)	[規模]	延べ床面積 1,032.38㎡ (蔵) 16.52㎡ R C造 平屋建 (本館) 247.93㎡ R C造 2階建て 第1～5展示室 (中村不折記念館) 764.83㎡ R C造 3階建て エントランスルーム、展示フロアー、特別展示室、中村不折記念館、会議室、事務室など
(3)	[委託事業]	博物館資料の保管及び展示、博物館資料に関する調査及び研究などの事業 施設・付帯設備及び物品の保全・調整、施設内の清潔整頓、その他環境整備等の事業。施設使用料徴収などの事業。
(3)	[自主事業]	特別展、企画展 中村不折生誕150年記念展、みんなが見たい優品展
(4)	[利用者]	全来館者
(4)	[利用料金制]	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> その他 ()
(5)	[開館日・時間]	開館日：休館日 (月曜日/12月29日～1月3日/特別整理期間等) を除く 開館時間：午前9時30分～午後4時30分 (入館は午後4時まで)
(6)	[人員体制]	8名 (内 訳) 常勤固有職員 (1) 派遣職員 (1) 区政嘱託員 (1) 研究員 (2) 専門員 (2) 特例嘱託員 (1) (前年増減) 増減なし

2. 予算決算

		28予算	28決算	29予算	29決算
収入	委託料 (指定管理料)	23,670,000	21,382,485	24,286,000	22,875,452
	利用料金収入	0	0	0	0
	その他収入 ()	0	0	0	0
	計	23,670,000	21,382,485	24,286,000	22,875,452
支出	人件費	0	0	0	0
	光熱水費	8,018,000	6,150,165	7,298,000	6,714,398
	維持管理費 (委託料・賃借料)	13,108,000	12,193,802	14,088,000	13,354,425
	修繕費	200,000	1,342,958	500,000	656,780
	事業費	0	0	0	0
	その他支出 (印刷製本費・消耗品費など)	2,344,000	1,695,560	2,400,000	2,149,849
	計	23,670,000	21,382,485	24,286,000	22,875,452
収支			0		0

3. 活動指標

	単位	(目標値)31年度	27年度	28年度	29年度
開館日数	日	274	277	283	284

4. 成果指標

	単位	(目標値)31年度	27年度	28年度	29年度
入館者数	人	15,500	15,400	15,600	16,457

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取り組み状況

東京国立博物館との連携企画を、今回は朝倉彫塑館を含めた3館スペシャル企画として実施し、新たな層の来館者の呼び込みに努めた。

6. 評価の観点
 (20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり)
 (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った

(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、職員配置、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	区に対し適切なタイミングで連絡を取り、また、必要な事項については区と協議しながら、適正な管理体制のもと運営が行われた。
(2) 事業の運営	職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
20 / 20 点	東京国立博物館等との連携企画を中心に、マスコミ等への情報提供の拡充や、ギャラリートーク(学芸員による館内での作品等の説明)・ワークショップを積極的に行うなど、施設の目的に沿った事業が適正に行われている。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	貴重な資料の保存・保護のために区と連絡を取りながら、計画的な修理を進めている。また、施設全体の修繕についても、しっかりとした報告があり、区と連携して適切な管理運営が行われている。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
18 / 20 点	アンケート結果の活用や、LED照明の導入を計画的に進めるなど、来館者のサービス向上に努めている。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	経費節減に努め、適正に予算の執行がなされているものの、入館料収入が予算額には満たなかったため、入館者数増の更なる工夫が必要である。

(6) 優れた取組み <<加点項目>> ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取り組みによる成果
5 点	展示方法の工夫やプレゼント抽選会などの事業企画、SNSを利用した情報発信などを積極的に行うとともに、施設PRにユーモアを交えたことでSNSの利点が活かされ情報が拡散し、今まで来館したことのない新規の来館者が増え、入館者数の増加につながった。

7. 総合評価 極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)

極めて良好 (103 / 110点)	【所見】 東京国立博物館等との連携企画を中心に、ワークショップ等を積極的に行っている。また、ユーモアを交えた展示や情報発信により、新たな層の来館者の呼び込みに努めるなど、施設の魅力を効果的に活かした適正な運営が行われている。	【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】 経費節減に努め、適正に予算の執行がなされているものの、入館料収入が予算額には満たなかったため、入館者数増の更なる工夫が必要である。
----------------------------	---	---